

来月は臨海行事になります。今年もたくさん海の生き物を捕まえたいです。

	<h1>おひやり</h1>	No.366 令和5年7月10日発行 社会福祉法人円福会 円福寺愛育園 園長 藤本光世
---	---------------	---

六月の諸行事

園長 藤本光世

コロナが五類になって、少しずつ平常の生活が戻ってきました。

父の日の会、母の日の会

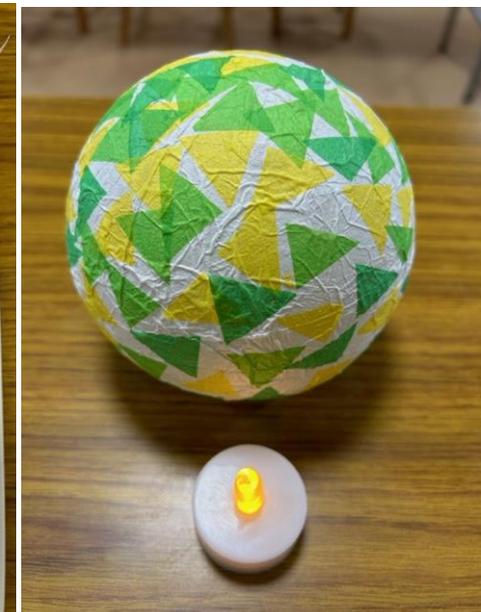
愛育園では、毎年子どもたちが手作りのプレゼントを用意して、母の日の会には女性職員に、父の日の会では男性職員に感謝の会を開いてくれます。

今年は母の日が子どものお誕生日と重なって、一日ずらした5月15日（月）に、父の日の会は6月18日（日）の夕食時に開催しました。



赤いカーネーションと手作りプレゼントを貰った職員が、子どもたちに一言ずつ御礼の言葉を伝えました。

父の日の会のプレゼントです。左は女の子が作ってくれたドーナッツ。あまりにきれいなので、おもわず置物ですかと尋ねてしまいました。とってもおいしかったです。右は男の子が作ってくれたランプシェードです。膨らませた風船に和紙を貼って、その上にきれいな装飾をして作りました。風船は紙が乾いたら割ってしまうのだそうです。暗くなって点けてみると灯りがゆらゆらと揺れてきれいです。





毎年、子どもたちから心のこもったプレゼントをいただけるのは、とてもうれしいです。実は、このほかにメッセージ入りの写真を貰います。私は「円福寺愛育園に来て本当に良かったです。」というメッセージを読んで、それが最高の喜びでした。

通明小学校との懇談会

6月28日には通明小学校の校長先生、教頭先生や大勢の先生が愛育園においでくださいました。全体会の後で、子どもたち一人一人について、担当やホーム長と担任の先生が意見交換します。そして、力を合わせて、子どもたちを育てていただきます。

社会的養護に委ねられる子どもたちは、18歳で自立しなければなりません。自立の力の基礎になるのが、小学校の生活と思っています。いろいろな特性を持つ子どもたちに、先生が手厚く対応してくださっていて、本当にありがたいです。

今年は校長先生、教頭先生、担任の先生が子どもたちとともに夕食を摂ってくださいました。担任の先生を隣にした子どもたちはとっても嬉しそうでした。張り切ってお給仕をしていました。少しハイテンションで心配でしたが、立派でしたよ。

食事の時に子どもたちが楽しそうに職員にくっついてる様子を、校長先生に見ていただきました。ホーム長には、何人もの子どもたちが入れ代わり立ち代わりくっつきに行って、あの子も行きますよ、と話すとその通りに、ほほえましくくっついていました。とても良かったと思います。

教頭先生は、8年ほど前に通明小学校に勤務されていて、その時に担任をしていただき教頭先生が大大好きだった子が、今篠ノ井高校の3年生です。食事の時に帰ってきて、教頭先生の隣に座って、うれしかったでしょうね。あの頃の、甘えていた姿が蘇りました。

学校と愛育園が力を合わせて子どもたちを育てられるようになっていて、子どもたちは幸せです。そして、私はとっても嬉しいです。

臨海学習に向けて

主任指導員 T・M

臨海学習は昨年度から取り入れた新しい行事です。日頃から、野山や川を駆け回って、生き物採集に夢中になる子ども達の様子を見て、園長先生が発案してくれました。

去年、子ども達も職員もものすごく夢中になって魚を追いかけまわし、目を凝らしてアメフラシを探したり、あっという間に一日が終わって大満足の行事になりました。

そんな体験を皆覚えていて、今年も臨海学習の行事を行う事を発表すると、「早く行きたい!」「楽しみ!」といったワクワクした様子が早くも見られました。

去年の臨海学習で私が印象に残っている事は、行事前の子ども達の様子です。とても落ち着いて毎日を過ごす事ができていて、よくお手伝いもしてくれました。自然と子ども達と先生達の会話も弾んで、前向きな雰囲気は園全体に流れていました。とても心地良かったです。「子ども達にとって楽しみな事があるとテンションが上がって心配な事も出てくるけど、子ども達にとってすごく楽しみな事があると逆に落ち着いちゃうんだあ」と、私は思いました。改めて、園の行事が子ども達の成長に欠かせないものだという事に気づき、子ども達に最高の経験を積ませるために行事の企画や準備を今まで以上に頑張ろうと思いました。

先日、職員5人で臨海学習の下見に行きました。下見そっちのけで、すぐ海に潜り生き物を捕まえ始めました。子ども達に「こんな生き物がいたよ」と見せる為です。子ども達が喜んだりワクワクしたりしてもらえるように、みんな必死になって、夢中で生き物を探していました。素晴らしい先生方です。

水槽に入ったキレイな魚を見て子ども達は目を輝かせています。もっと大物を捕まえてやるとギラギラした目をしている子もいます。下見大成功です。

臨海学習まで2週間を切りました。早く子ども達と一緒に海に行っておもいきり遊びたいです。去年は、みんな楽しみすぎて、「事故ないように、怪我ないように」なんて言わなくても、自発的にルールを守って、落ち着いて行事を大成功させてくれました。今年もそんな行事の雰囲気を目指して子ども達と一緒に日々を過ごしていきたいと思います。

臨海学習に向けて

まごころホーム H・M

来月の7月16日に臨海学習行事を予定しています。今年で2回目になる海行事ですが、初めて行った去年を振り返ると、本当に楽しかったし、海に入るのは初めてだった子どもたちが、怖がりながら入っていたのに段々慣れ、生き物を捕まえるのに夢中になっていた姿が強く印象に残っています。みんなで良い経験ができたことが、とてもいい行事だったなと思います。捕まえた生き物を水槽に入れて飼い、観察するのも勉強になったなと思うので、今年も生き物を捕まえる

<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

のももちろんですが、長く飼うためにはどうしたらいいか、去年の反省を活かして子どもたちと
考えていけたらいいなと思います。

最後に、安全を第一に、みんなで協力して行事を成功させたいと思います。天気も晴れてほしい
です！

臨海学習に向けて あおぞら児童作文

今年も愛育園で海に行き、いっぱいいろいろな魚を捕まえていきたいです。その前に、臨海行
事で頑張りたいことや、魚を飼育して、もっと長く生きられるかを、しっかり学んでいきたいで
す。

まず、去年の海行事では自分は大きな魚をねらっていましたが、小さな魚しか取れなかったの
で、今年は大きい魚をとりたいと思います。頑張りたいことは、去年はちょっと浅めな所で魚を
とっていたが、今年は深めなところに挑戦したいと思います。なにより、海行事で大切なことは、
魚の飼育だと思います。去年は3, 4か月で死んでしまったので、くやしいです。自分は、生き物
を飼育することが好きなので、今年は目標を1年保てるようにみんなと一緒に飼育できるといい
です。

今年も臨海行事にいけるのか、とても待ちきれなかったです。そして園長先生に今年も行ける
と言われ、前よりもとても早く行きたいと思いました。そう、自分が、思えるのは、園長先生
のおかげです。感謝しています。だが、楽しく行けるためには普段の生活が大事です。落ち着き
がないと、ケガをしてしまうおそれがあるので、これからの生活を頑張っていきたいです。と
ても楽しみです。

(中2・F君)

去年は、タコを捕まえという目標をもって行きましたが、タコがいませんでした。なので今年
は捕まえたいです。あと、飛び込みをしたいと思いました。自分は飛び込みが好きなのでい
っぱい飛び込みたいです。網でいっぱい色々な魚を捕まえたいです。それを飼って、一年
以上死なないように大切に飼いたいです。

今年も海行事も楽しくやって、トラブルや大きな事故がないように遊びたいです。

(中3・K君)

愛育園に来て、初めて海に行ける行事が決まりました。海に行くのはとても久しぶりな
ので、とても楽しみにしています。

やってみたい事もいくつかあります。例えば、立ち泳ぎをマスターしたい！とか、魚を捕
まえたり、思いっきり泳いだりとか。それだけじゃなくて、まだまだあるんですがとにかく
楽しみで

(令和5年7月10日発行 月刊「円福」514号付録)

す！

ですが、楽しみが大きいほど、それまでの生活をおろそかにしがちです。なので、私
はその日を目一杯全力で楽しみ尽くす為に、より一層、普段の日課をしっかりこなして
いきます。また、海に行かせてもらうことに感謝です。勉強も、より高い成績を維持
できるように頑張るので、応援よろしく願いいたします。

(高1・N君)

臨海学習に向けて まごころ児童作文

海行事に向けて

7月16日に海行事があります。今年も行けることになってとてもうれしいです。昨
年はたくさん魚をつかまえたので、今年ももっと多くの魚をつかまえたいと思
います。そして、つかまえてきた魚を、去年よりも長く飼えたらいいなと思
います。私は去年、海でおぼれてしまったので、今年も、安全に気を付けて海
行事を楽しめたらいいです。行事までの残り日数、勉強や生活などいっしょ
うけんめいがんばって、当日楽しく行って、いい行事にしたいです。

(高1・Uさん)

海行事に向けて

七月十六日に海に行きます。去年も海に行かせてもらい、今年も海に行く
と聞いてとても嬉しかったです。

去年は不安などが大きく、あまり海に入れませんでした。でも今年も先生
の話もしっかり聞きながら思いっきり楽しみたいです。

また、海で捕った魚たちが一年経たずに死んでしまったので、今年こそ
は去年よりもたくさん魚を捕って、しっかりお世話をして、一年以上大切に
飼いたいです。

そして、けがや事故なく、楽しい海行事にしたいです。

(高1・Mさん)

海行事に向けて

来月の十六日に海行事に行きます。去年はたくさん生き物をつかまえる
ことができうれしかった反面、少し深いところまで行きすぎてしまい、おぼ
れたというすごくこわい印象も持ちましたが、今年も、あまり深いところ
にいすぎないようにしていきたいし、今年こそは園長先生にたのんでライフ
ジャケットをかってもらいたいです。また、去年よりもたくさん生き物
をつかまえて、しっかりと長生きしてもらえるように、水の入替えや掃除
などもしていきたいと思いました。

海行事までの間もしっかりと部活や勉強をがんばったり、人とのかわり
方もいろいろと気を

<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

付けながら、来月の海行事をみんなで楽しい雰囲気で行けるように1日1日の生活をがんばっていきたいです。また、今年も海に行けるということはあたり前ではないということも忘れずに、園長先生やこの日までのために準備等をしてくれる先生方に感謝を忘れずに生活していきたいです。

(中3・Mさん)

植原先生 研修会感想

汐見カウンセリングオフィスの植原亮太先生をお招きし、講演をして頂きました。「傾聴」をすることの意義について熱弁して頂き、質問時間には事例研究をして頂きました。

- ・今回の研修会では、「傾聴」をテーマに講演をしていただき、事例を交えながら非常にわかりやすく、学びのある時間を過ごさせていただき、ありがとうございました。
- ・「聴く」という技術はとても奥が深いなと思いました。「理解したふりをしてアドバイスをしている」ことなど、よくあることだなと感じました。すべてに共感することはできないけれど受け止める、その場にいる、真摯な態度で向き合うことが「聴く」ことの大切な要素なのだと理解しました。
- ・「傾聴」は相談者と信頼関係を形成するためには必須なことであるということを常に忘れずに、口を挟みたくなくても我慢し、イライラした自分も理解してあげることも忘れずに、日々反省の時間をとっていきたいと思います。
- ・自分の心が安定していないと傾聴はできないし、子どもたちの心も安定しないと思います。心の深いところを話してくれて、相互理解していくために黙って聴いて、心の傷を癒してあげられるようになれるよう努力していきたくと思いました。
貴重な講演を聞いて本当に良かったと思います。ありがとうございました。
- ・今回、植村先生の話聞き、事例とともに具体的に話の背景などを読み解きながら相手を理解していくということがいかに大切かを感じさせられました。子どもと話をするとき、どうしても個人の価値観や、固定観念をもって挑んでしまいます、頭では分かっているもなかなかまっさらな気持ちで向き合うことができず日々反省だな、と思いました。
- ・子どもが何かトラブルを起こした時がチャンスというお言葉をもらい、講演中、とても気持ち

(令和5年7月10日発行 月刊「円福」514号付録)

が軽くなるのを感じました。自分の立場を守る事も大事ではあると常々思っていました、そうではなく、ピンチをチャンスに変えて子どもとの関係を強く築いていきたいと思いました。

- ・子どもたちがよりよく成長するためには職員の力があってこそなので、今回学ばせていただいたことを子どもはもちろん先生方とコミュニケーションをとる上でも実践していきたいと思います。本当にありがとうございました。
- ・子どもと関わる中でイライラしてしまう事もあるけれど、そのようなことを感じた時はチャンスであり、その理由を知ることによって相手を知る、自分自身を知ることができるというお話も頂いたので、そのようなことがあっても「イライラした」という一言で終わらせず、その理由について考えながら、子どもたちと関わっていきたくと思います。
- ・話す前に冷静にその子の気持ちや行動の理由を考え、話を聴いたうえでもまた考えていくことを大切に、日々の子どもの対応をしていきたくと思います。
今回は貴重なお時間、ありがとうございました。
- ・傾聴することは難しいですが、向き合っている相手をどう思っているのか、またその相手の話をどう感じているのかという気持ちに触れることができるため、自分自身を見つめ直す機会になると思いました。
- ・今回このような講演会に参加させていただきとても貴重な経験となりました。講演会での学びを生かし、日々子どもたちとの対話や指導にあたっていきたいです。ありがとうございました。
- ・今回、傾聴についてのお話をお聞きし、大きな学びを得る事ができました。ありがとうございます。「安全基地としての傾聴」と「その子自身を理解する為の傾聴」。どちらも子供たちの養育支援に欠かせないものである事を深く認識する事ができました。今回お聞きできたお話を心に留めて、また仕事に邁進していきたくと思っています。本当にありがとうございました。
- ・今回の講演会で学んだ傾聴を常に心に置き、関わる事ができたら良いなと思います。そして毎日の関わりを日々反省しどうしたらよかったのかをもっと考えるようにしていきたいです。改めて今回はこのような素敵なお話をさせていただき誠にありがとうございました。

- ・今回の講演をお聞きし、黙って聴くということが一番大切であると知ることができました。気づかないうちに否定的な感情を持っていたり、自分の気持ちに嘘をついていたりすることが相手に伝わってしまうことを知って、自分自身と向き合うことも必要だと感じました。

ホーム食



あおぞらホーム A・K

6月18日にホーム食がありました。あおぞらホームでは、「おやき」「きゅうりの浅漬け」「フルーツぜんざい」を作りました。おやきづくりを初めてする子ども達が多く、みんなわくわくした表情をしていました。Tくんは自分の作ったおやきを職員や他児に見せて、「見て、これ凄いでしょ!」と、とても自慢気でした。また、Yくんは独自の形のおや

きを作り、焼き上がりを楽しみにしていました。上手に焼きあがったおやきを見て、とてもうれしそうでした。

自分たちが作った大小さまざまな形をしたおやきを、みんな美味しそうに、嬉しそうに食べていました。大人でも中々経験する機会のない、おやきづくりの体験ができて、子ども達にとっても、職員にとっても、とても充実したホーム食になったと思います。

ホーム食



まごころホーム T・M

今回のホーム食は、餃子、韓国風おにぎり、ライスペーパーアイスクリームを作りました。餃子はミートソース入りの洋風餃子、エビの揚げ餃子の2種類を作りました。餃子作りではそれぞれ班に別れて具材を切ったり、餡を作ったり、包んだり多くの作業を行いました。中には苦戦している子もいましたが、どうやらうまくできるのか聞きながら一生懸命取り組んでいました。特に包む作業は、徐々にみんな慣れていってとても楽

しそうな姿も見られました。韓国風おにぎりとライスペーパーアイスクリームは、具材をたくさん用意してそれぞれ好きなように選びながら作りました。「何入れよう?」「どれが美味しいかな?」と話しながら自分好みになるよう楽しんで作っていました。主食からデザートまでたくさん作って食べて最後はお腹がいっぱいになりました。

『父の日の会』

まごころホーム T・S

先日、父の日の会がありました。1週間程前から子どもたちとプレゼントの準備をしてきました。今回のプレゼントは「ランプシェード」「バスボム」「手作りドーナツ」「写真付きメッセージカード」です。あおぞらの男の子たちとランプシェードとバスボムを作り、まごころの女の子たちでドーナツを作りました。プレゼント作りをやっていく中で、私は普段あまりあおぞらの子どもたちと関わる機会が少ないので、大丈夫かと心配もありましたが、みんな丁寧に一生懸命作ってくれ、全員分とても上手に作ることができました。その中で印象的だったのが中2のK君、Y君が作り終わったあと自分たちから「片付けもやりますか?」と言ってくれたことです。そういう気遣いができるんだなあと思い、良いところを見てよかったです。女の子たちもドーナツづくりを協力してやってくれました。全員中高生でお菓子作りも慣れたもので、とても頼もしかったです。メッセージも心のこもったものばかりで、普段先生方とどんなことが楽しくて、どんな思いをもっているのかが垣間見え、とても微笑ましい気持ちでした。当日、子どもたちから直接男性職員に手渡しし、先生方からも子どもたちに言葉をかけていただき、普段なかなか感謝を改めて伝える機会はないので、いい時間になって良かったです。

部活動大会 あおぞら

あおぞらホーム F・K

今年も北信大会が行われました。サッカー部の中学2年生K君も大会に出場し、今までの練習の成果を存分に発揮し頑張る姿がありました。結果は残念ながら敗退で、先輩は引退となってしまいましたが、K君は新副キャプテンに選ばれたとのことで、ここから1年間、来年の大会に向け改めて頑張っていって欲しいです。

バスケット部の中学3年生のM君と1年生のH君は、M君は選手として、H君は応援として、出場しました。結果としては敗退という結果になってしまいM君は引退となってしまいましたが、これまで部活動で培ってきたものはM君の中に残ると思いますので、今後もそれを忘れず頑張っていって欲しいです。そして、H君はまだ入部したてで、今回は応援という形での参加でしたが、今後練習に打ち込み活躍していけることを楽しみにしています。

あおぞらホームだより

あおぞらホーム I・A

本格的な梅雨に入り、雨の日が長く続いています。そんな中でも、日中30度近く上がる日も増えてきて、子ども達は汗を流しながら外で元気に遊んでいます。今月は、小学校の運動会がありました。5月から運動会練習が始まり、直前にはほぼ毎日運動会の練習をがんばっていました。小2HくんとAくんはかけっこを一緒に走りました。二人とも全力を出し切り、Aくんは見事一位を取っていました。Hくんも、Aくんに負けてしまいましたが拗ねることもなく、全力を出す姿がありました。小3のKくんは竹ひきで負けてしまう場面もありましたが、整列などもみんなと同じ動きができており、よく頑張っていました。小4のYくんはソーラン節をキレイ良く踊り、とてもかっこよかったです。小6のTくんは運動会の前からリレーが楽しみとやる気満々で、本番でもチームのために全力を出し切っていました。運動会が終わった子ども達は、とても疲れている様子でしたが、清々しい顔で運動会の話たくさんしてくれました。運動会で学んだことを日常生活にも生かして行って欲しいです。学期も残すところ残り一か月ほどとなりましたが、体調管理に気を付けながら、子ども達が日々の生活を頑張れるよう、安心して生活できる環境をつくっていきたいと思います。

まごころホームだより

まごころホーム H・M

段々と日差しが強くなり始め、子ども達の表情にも暑さからの疲れを感じています。それでも毎日歩いて、自転車で学校に行き、頑張る子ども達は本当に偉いと思います。それぞれの学校では、期末テストが終わり、ほっと一息つけたのではないかと思います。休みの日には、池に出かけ、魚をつかまえたり自然に触れて、リフレッシュをしました。捕まえた生き物は水槽に入れて飼っています。餌をあげたり掃除をし、大切に育てています。子ども達の優しい心が見られ、とてもいいと思います。

一学期もまとめに入ってきました。良い夏休みが迎えられるよう、支援していきつつ、これから暑さも厳しくなっていくと思うので、子ども達の体調管理には、気を配っていききたいと思います。

調理室だより

調理員 O・H

毎年楽しみにしている調理室横の紫陽花が今年も綺麗に咲きました。一雨ごとに色が変わっていくように感じます。

六月も子どもの好きな献立がたくさんありました。

- 4日 虫歯予防メニュー 【十六雑穀ご飯 あじフライ カミカミサラダ
青のりビーンズ 牛乳】
- 5日 月遅れ節句メニュー【サンドイッチ かきたまスープ フルーツinゼリー 牛乳】
- 10日 N君誕生日メニュー【ざるそば 天ぷら キャラメルバナナパフェ 牛乳】
- 18日 父の日メニュー 【卵とじかつ丼 ポテトサラダ スイカ 牛乳】
- 28日 通明小学校懇談会 【唐揚げ ポテトサラダ ハム巻ききゅうり
フルーツinゼリー 牛乳】
- 29日 K君誕生日メニュー【ミートソーススパゲッティ フライドポテト
ステ
ィック野菜 スペシャルパフェ 牛乳】
- 毎月ご厚意でいただく食材に加えて、畑で採れる野菜も届くようになり毎日の食事がより充実しています。

